

解 答

□

問一 ア 興味 イ 伝統 ウ 値段 エ 修復 オ こくもつ

問二 a ウ b ア 問三 ウ 問四 1 ウ 2 エ 3 ア

問五 イ

問六 イタリア人は、自国の食べ物への自信と愛情から、それを守ろうという意識が高いから。

問七 これに引き

問八 人任せ 問九 ウ

問十 風土にあった食べ物がすたれ、職場と住居が遠い都市構造から、一家が食卓を共にしないという食生活や、アメリカ英語に影響された言葉など、日本人が日本の伝統をないがしろにした生活をしているということ。

問十一 エ

問十二 近年は、「地産地消」、「ご当地食」のように、地元で取れる食材を活用することが見直されている。私の住む練馬区では、漬け物用として名高かった特産の練馬大根は、病気や、漬け物需要の低下、宅地開発による農地の減少から、長く作られていなかったが、近年、数件の農家が栽培を再開している。筆者と同様の危機感を抱き、伝統の食文化を見直そうという動きは、これからもっと大きくなっていくのではないだろうか。

□

問一 第二 「ごめん、失敗」 第三 校庭を大回

問二 A エ B ア C ウ D イ 問三 エ

問四 けれど、ぼくはバトン・パスがうまくないので、むしろ遅くなる。けれど、二人が息を合わせてバトン・パスするのは簡単ではない。

問五 ウ 問六 ア 問七 ウ

問八 チームが勝つにしても、それは他のメンバーのがんばりであって、ぼくが足を引っ張っているのは明らかだから。

問九 エ

問十 いつもは、都合の悪いことをうやむやにするために使っているが、この時は、リレーに集中するために使っているという違い。

問十一 ア 問十二 イ

□

① 馬 ② 牛 ③ 鳥 ④ 犬

□

① 精密 ② 回答 ③ 欲望 ④ 過程 ⑤ 支持

□

① カ ② オ ③ イ ④ ア ⑤ ウ

解 説

一

問五 アカイかで迷いますが、昼間の人口が多く、夜間人口が極端に少ない状況＝「津波のように人が押し寄せてその後ひいていく」ということであり、「落雷」ではおかしいですね。

問六 イタリア人がマクドナルドのどういう点を「余計なお世話だ」と感じているのか、を考えましょう。答えの要素はまず傍線①の直後、「わたしたちはイタリアに～尊敬します。」にあります。この部分を要約した「イタリア人は自国の食べ物に満足し自信を持っている（愛している）」ということが答えの中心となりますが、さらに本文全体から「自分たちの文化を守ろうという高い意識を持っている」ということを読み取って付け加えることができれば、なおよろしいでしょう。

問十 作者は現代の日本人のすがたを「根なし草」と例えています。どんな点が、と言いますと、①食生活の変化②経済効率の重視→都市構造の変化→一家団欒の習慣の消失③日本語の英語化④生活習慣全般の西洋化、があげられます。①から④すべてに言えるのは、伝統的な日本の生活・日本文化が、急速に失われていっていること、また、それを日本人が問題視していないこと、です。①から④すべてを具体的に説明しきれなくても結構ですが、上記部分は必ず記述しましょう。

二

問四 「けれど」に続く部分にはは「実際そううまくはいかないのだ」「ぼくらの場合はそううまくはいかないのだ」という意味合いの文が入れば結構です。上記の模範解答の他に「けれどそれは、渡す役ともらう役の息が合っ

ば、の話だ。(28字)」などでも問題ありません。

問八 「楽しいパターンではない」のは何か、それは「二走まではぼくら男子チームが勝っているが、三走のぼくで女子に抜かれ、続くアンカーが抜き返して、ぼくらが勝利する」というパターンですね。理由はもちろん、「自分がチームの足を引っ張っている」「チームの中で明らかにぼくだけが遅い」のを自覚しているからです。

問十 いつもとの違いを説明しなければなりませんので、双方を比較する形で記述しましょう。いつもは「いやなこと、都合の悪いことをうやむやにするため」に使っていますが、この時は「リレーに集中するため」「自分の気が散るのをふせぐため」に使っています。